

## は し が き

県立教育センターは、研究・研修・奉仕の三つの事業を柱として活動を進めておりますが、とりわけ研究機能の面は、新潟県として唯一の教育研究機関であることから、その役割や責任のとくに大きいことを痛感しております。

このことから、県教育センターの取り上げる研究テーマは、学校の教育実践上の課題解決に資するもの、ないしは現代教育の動向、教育行政上の課題と強い脈絡を持った内容を持つべきだと思います。さらにセンターの研究は、理論的でなければならぬことは当然ですが、また具体的・実証的・実用的でなければ、皆様のお役に立てないと考えます。

この研究報告第10号「学校経営の最適化に関する研究」を、上記のことから十分御検討いただき、遠慮のない御指導と御批正をたまわりたいと存じます。

国立教育研究所・都道府県・市町村等の教育研究所・センター等で組織する全国教育研究所連盟では、昭和49年度から51年度までの3か年間、全国共同研究として「学習能力の形成」「学校経営の最適化」をテーマに取り上げ、研究を進めてまいりましたが、本報告書は、担当所員が後者の全国共同研究の考え方を参考にしながら進めた研究の成果をまとめたものであります。

もちろん、この研究結果は、研究の目的・内容・手法の不備と、担当所員もひとりであったということから、不十分な点が多いことと思っておりますが、学校経営の反省・改善のための資料としてなんらかのお役に立てれば望外の幸せです。

おわりに、この研究のために調査データの御提供をいただきました26の小・中学校の校長先生はじめ先生方に深く感謝の意を表します。

昭和52年3月

新潟県立教育センター所長 北川正司